

美術 清水正年

音楽 ノヤママナコ
(マナコ・プロジェクト)

照明 尾鷲武志

舞台装置製作協力
吉田貴志
(ヨシダ人形劇)

制作 山本いすみ

カッパ族の歴史の
謎を追え! ドラマチックな
物語と美術の大型人形劇!

ヒドリケ淵の スルナ

原作 富安陽子 (辰成出版社刊)

『どうだ!』『魔の子先生』『まゆとおに』
等シリーズ多数

演出脚色 北村直樹 (人形芝居ひつじのカンパニー)

『モモ』(文化庁芸術祭優秀賞)

『ちいさくなつたハハ』(日本人形劇大賞金賞)

『潜水海賊キャバテン・グック』(日本人形劇大賞銀賞)

～ いのちの水をとりもどせ! ～

めつけ!

よっしゃ!

そっか!

カッパたちの大相撲大会の夜、

滝の水が止まってしまった。

原因を突き止めるために

メッケたちは枯れた滝を登っていく…!

みんなの感想

- ◆オープニングの水中の表現で瞬く間に物語へ引き込まれました。
- ◆ハラハラドキドキしながら、あつという間の75分間でした。
- ◆メッケ一人ではなく、仲間3人だったからこそその冒険というストーリーが子ども達の共感を呼ぶ作品だと感じました。

原作に出会った時、カッパのコミュニティの中で変わり者として軽視されていたメッケが、この事件を通して水に棲む生き物全体の命について考えるよう成長していく姿に惹かれました。そしてそれはソッカやヨッシャとの出会いなしにはありえませんでした。彼らが力を合わせてカッパの国を救うこの大冒険の物語を人形劇舞台化して、観客の子どもたちに生きていく勇気をプレゼントできればと願っています。オープニングの水中を泳ぐシーンや様々な不思議キャラクターの登場もこの作品の魅力です。